

進んで活動する姿

続けて最後まで
する姿

目的・目標を持って
活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 中学部

『自分から、ものの場所を表すことばを聞くと、基準や数え始めを確かめて、カリスマ店員ゲームでチケットを渡そう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・ 中学部 1 年生 男子
 - ・ 段や列を数える際に、最初の 1 列目、1 段目を飛ばして数えている。
 - ・ 1 番上や 1 番下はどこをさしているか聞かれると、正しい位置を示すことができる。
- そこで本題材では以下の望む姿を設定した。

→ 3×7マスの任意の位置を聞くと、基準と数え始める位置がわかり、伝えられた位置の物を取ることができるようになってほしい

2. 教材の概要 『伝説のカリスマ店員ゲーム』

- ・ ハンバーガーショップの店員となり、もう一人の店員から、客の注文の品をトレーのどの位置に置かかを聞いたり、客から 3×7マスのカードポケットからサービスチケットを 1 枚選んでもらい、その位置を聞き取ってチケットを渡したりする。

3. 授業のポイント

ポイント1 役割を楽しみながら、友だちと学びあうための活動の仕組みの工夫

【聞き取ることの楽しさを感じながら、友だちと学び合うためにはどうすればよいか？】

- ・ 店の雰囲気が感じられるよう、ハンバーガーショップの商品（イラスト）や、メニュー表などを取り入れた。
- ・ 正しく聞き取れたかを自分たちで確かめ合うことができるよう、聞く役と話す役を設定し、店員の役割を変える仕組みにした。

店員A
①客から注文を聞き取る
②店員Bへ商品と、商品をトレーのどこに置か位置を伝える。
③客からサービスクーポンを選んでもらい、聞き取った位置のサービスチケットを取って渡す。



店員B
①店員Aから商品と、商品をトレーのどこに置か位置を聞く。
②商品を並べたら、店員Aの作った見本と見比べて正誤を確認する。
③客へ商品を提供する。



授業構想チェックシート 意欲チェック 展開・発展時の工夫⑭ P. 6参照

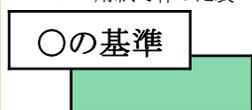
ポイント2 自分で考え、答えを導く過程を確認できるようになるための教具の工夫

【基準から数えはじめの位置がわかるためにはどうすればよいか？】

- ・ 基準ポケットを作り、基準を具体化することで上下左右の基準の位置を自分で捉えることができるようにした。
- ・ 自分で○番目を確認したり、答えを導き出した過程を教師に説明したりするとき、基準ポケットから確認シートを出して操作できるようにした。

例) 上から2番目、右から2番目の指示のとき上と右の基準ポケットを取り、それぞれカードポケットの外枠に沿って置く。上の基準ポケットから確認シートをスライドさせ、1、2と動かす。同様に右の基準からもシートを動かし、重なった位置が指示の位置となる。

基準ポケット(上下)
コピー用紙で作った袋

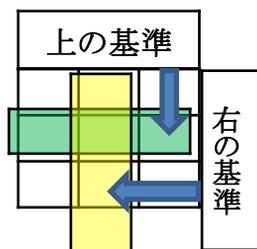


確認シート(上下)
半透明となっていて、基準ポケットに入れてある

基準ポケット(左右)



確認シート(左右)



授業構想チェックシート 意欲チェック 展開・発展時の工夫⑯ P. 6参照

実践事例 中学部／教科別の指導：国語

『進んで、人、場所、物、動作の視点を含む指示を聞き絵図を組み合わせて内容を再現させたり、深く考えて絵図から指示内容を組み立てて伝えたりしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・中学部1年、女子生徒
- ・活動する内容がわかると、意欲的に取り組む
- ・自分がしたいことを優先させて行動する傾向にある
- ・人、場所、動作の視点を聞くとき、場所の視点を聞きもらしたり聞き間違えることがしばしばみられる
そこで本題材では以下の望む姿を設定した

どの視点も大切であることがわかり、場所をもらさず全ての視点を聞き取ってほしい

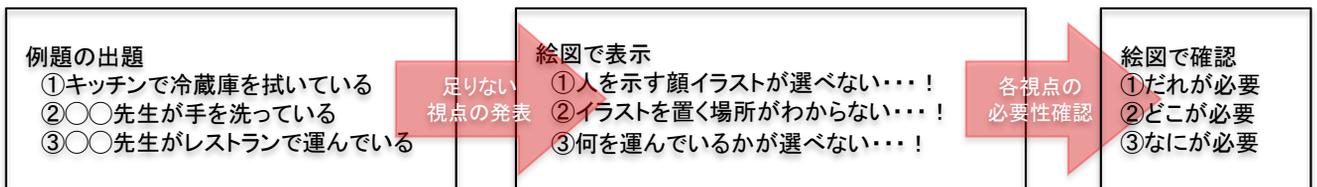
- ・本題材では、ゲームをとおして人、場所、物、動作の4つの視点を含んだ指示を聞く中でカレーショップマップの指示された場所に人、動作のイラストを合成して配置するために、場所を聞きもらさず全ての視点を聞き取る必要性を感じられるようにした。

2. 授業のポイント

ポイント1

自分から進んで取り組むための学習活動の工夫

視点が抜けることにより、指示内容が再現できないことを絵図を使って示すことで全ての視点が揃う必要性を感じられると考えた。そこで、教師が、人、場所、物、動作の4つの視点の中から1つの視点を省いた問題を出題し、生徒がどの視点が抜けているかを発表する活動を設定した。

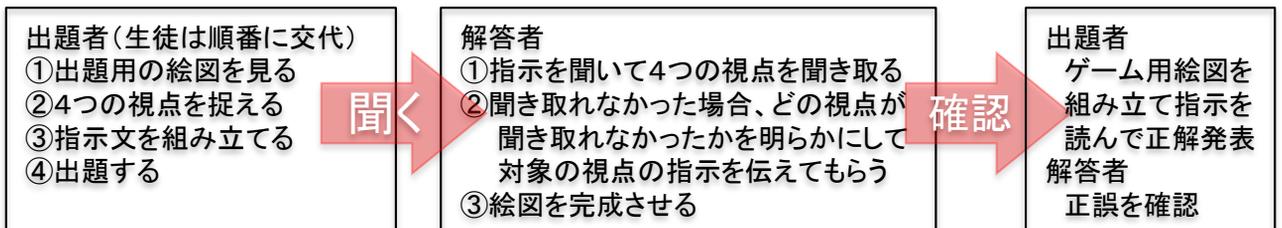


授業構想チェックシート 意欲チェック 導入時の工夫⑤ P. 5参照

ポイント2

深く考えるための学習活動の工夫

絵図を見て4つの視点を捉えて状況を説明できるようになることで、指示を聞くときにも人、場所、物、動作の各視点に注意を向けることができると考えた。そこで、カレーショップマップに置かれた人、物・動作イラストを見て指示文を組み立てて友達に伝える場面を設定した。



授業構想チェックシート 意欲チェック 展開・発展時の工夫15 P. 6参照